

今後のPRISMのあり方に係る見直し方針

令和4年11月

内閣府

科学技術・イノベーション推進事務局



1. PRISMの政策目的の明確化

<基本方針> 科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針

官民研究開発投資拡大が見込まれる領域における研究開発等をCSTIがイニシアティブを取って推進するため、各省庁における取組の実施・加速等に取り組むプログラム。

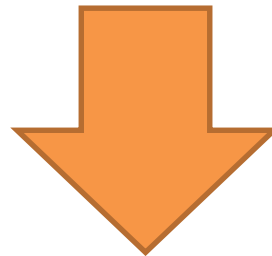


<これまでの運用> 官民研究開発投資プログラム運用指針「研究開発型」

統合イノベーション戦略に基づく各種戦略の実現に必要な施策であって、**各府省庁において十分には実施されておらず、かつ司令塔として実施すべき特に重要な施策等を推進するため、ガバニングボードは、領域を設定し、領域統括の下、民間研究開発投資の誘発又は財政支出の効率化に資する研究開発を推進する。**

<課題①> 十分には実施されていないことの理由が明確にされておらず、各省庁から提案を求めると、各省庁で予算が取れなかったものが多くなってしまふ。

<課題③> 領域統括が各省庁の施策の全体的な動向が十分把握できる仕組みになっておらず、各省庁の提案の個別の議論になってしまっている。



<見直し案>

統合イノベーション戦略等の科学技術・イノベーション政策の方針に基づき、CSTIの司令塔機能を生かし、**各省庁の研究開発等の施策のイノベーション化※(次ページ)を推進する。**そのため、ガバニングボードは、**重点課題を設定した上で、各省庁から提案を募集し、各分野の施策動向等に係る有識者からの意見や産業界等のニーズを踏まえ、民間研究開発投資の誘発又は財政支出の効率化に資する取組に予算配分等を行う。**

<課題②-1> 領域が各技術分野を幅広くカバーできるように設定されているが、CSTIが重要な施策の具体的な方向性を示せておらず、小粒で中心的でない提案も見られる。

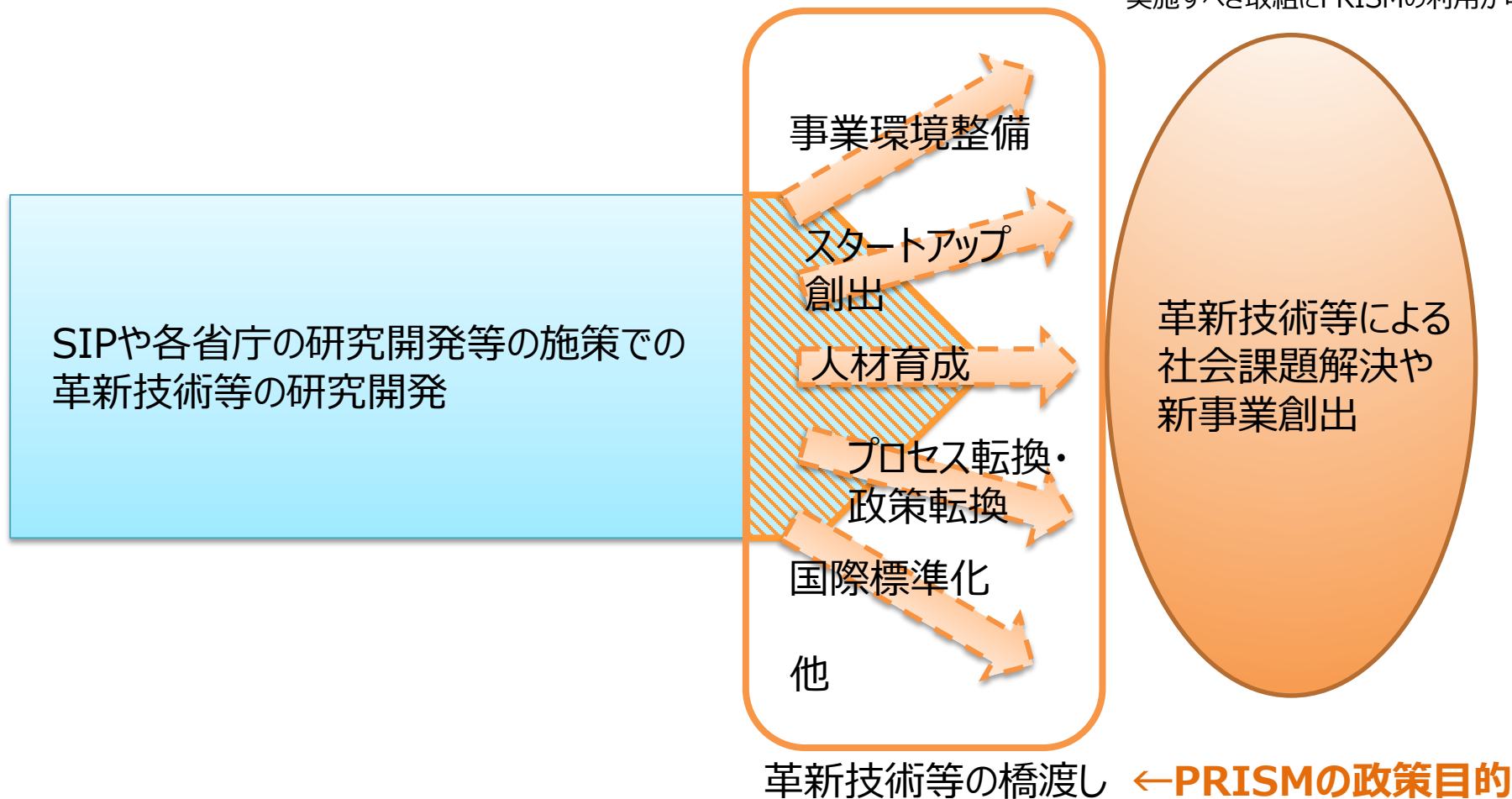
<課題②-2> PRISMの対象となっていないが、重要性の高い技術分野が存在するとともに、技術開発に留まらない、イノベーションの手法論としての議論ができていない。

(補足) PRISMの目指す「イノベーション化」の考え方

<「イノベーション化」の考え方>

SIPや各省庁の研究開発等の施策で開発された革新技术等を社会課題解決や新事業創出に橋渡しするための事業環境整備、スタートアップ創出、人材育成、プロセス転換・政策転換、国際標準化等の取組

PRISMの対象範囲 ※研究開発と並行して、社会課題解決等に向けて実施すべき取組にPRISMの利用が可能



2. PRISMの制度の見直し

①CSTIの方針の提示

<これまでの運用>

各技術戦略等に対応した技術領域の設定
(令和4年度: AI、量子、バイオ、インフラ・防災)



<見直し>

統合イノベーション戦略や各種戦略等※に基づき、各省庁の施策のイノベーション化を推進する、**重点課題の設定**
(重点課題の例: スタートアップ事業創出、国際的に活躍する若手人材の育成、SIP成果の社会実装等)

※科学技術イノベーション創造推進費の中にPRISMの活用に係る調査費を計上

②対象となる元施策

<これまでの運用>

当該年度の予算事業 (一般会計)



<見直し>

予算事業に限らない、各省庁で取り組む研究開発等の施策。CSTIからの要請を受けて、新たに取り組むものも含む。

③開始時期・事業期間

<これまでの運用>

各省庁の予算事業を前提とし、予算事業開始後の6月、9月(、11月)に配分。
次年度以降、各省庁の予算に反映することを前提とし、事業期間は原則として単年度。
一方、年度ごとの評価結果を踏まえ、継続可。



<見直し>

各省庁の予算事業に関わらず、**4月からの配分を可能に。**あらかじめ設定するステージゲートをクリアした場合には**最大3年間までの継続は可能に。**(3年を超えるものは原則SIPで実施。)

④領域ごとの検討

<これまでの運用>

領域ごとに領域統括・運営委員会を設置。



<見直し>

SIP/PD等の各分野の施策動向に係る有識者やプログラム統括等の横断的な視点からの有識者に意見を聴く。

⑤産業界等のニーズの反映

<これまでの運用>

マッチングファンドは25%以上を義務付け。



<見直し>

マッチングファンドに加え、**実施機関は、可能なテーマは国研だけでなく、民間を含め公募し、民間との連携を促進。**

3. PRISMのスキームの見直し

<これまでの運用>

技術領域の設定 (GB、政策ニーズ等に応じて)



施策 (テーマ、配分額、実施体制等) の提案
(各省庁、毎年度複数回※新規事業では6・9月、
継続事業では4月も)



運営委員会での審議 (提案があった場合)



PRISM審査会での評価 (毎年度複数回)



実施方針の決定 (GB、毎年度複数回)



各省庁への予算配分 (毎年度複数回)



施策の実施 (各省庁、毎年度)

継続
事業
でも
毎年度
提案



<見直し>

重点課題の設定 (GB、**毎年度**)



施策 (テーマ、配分額、**事業期間 (3年以内)**、
出口戦略等※**実施体制は原則として公募で選定**)
の提案 (各省庁、**毎年度複数回**※ **4・6・9月**)



**SIP/PD等の各分野の施策動向に係る有識者や
プログラム統括等の横断的な視点の意見聴取**
(提案があった場合)



PRISM審査会での評価 (毎年度複数回)



実施方針の決定 (GB、毎年度複数回)



各省庁への予算配分 (毎年度複数回)



施策の実施、**テーマごとの実施体制を公募**
(複数年度、毎年度評価を反映)

**複数
年度
事業
では
毎年度
評価し、
結果を
反映**

- PRISMの見直しに伴い、プログラム名の改変に関して検討する

(新しい名称案)

BRIDGE (ブリッジ)

研究開発とSociety 5.0との橋渡しプログラム

programs for **B**ridging the gap between **R**&d and the **I**Deal society
(society 5.0) and **G**enerating **E**conomic and social value

(参考) 官民研究開発投資拡大プログラム

(Public/Private **R**&**D** **I**nvestment **S**trategic Expansion Progra**M**)